

ここに
チュウモク

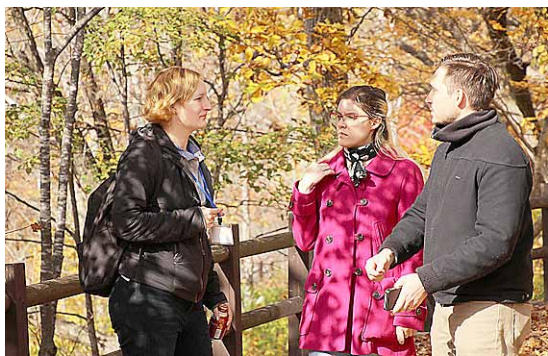
たきのうえの稼ぐ力を磨きましょう。

農山村の魅力を観光の視点による「農泊」!!

今月の「ここにチュウモク」は、昨年から取り組みだした「農泊」事業についてご紹介します。

地域おこし協力隊の吉田さんと元英語指導助手のジョディさんが滝上の魅力発信に頑張っている滝上の「農泊」にチュウモクです。

■The start- (はじまり)
平成30年7月から、農林水産省の支援を受け、農山村に滞在し体験型旅行をビジネス



として提供する「農泊」事業に取り組んでいます。

農泊に取り組み、地域活性化を進めるため一般社団法人滝上町観光協会が中心となり「滝上町農泊観光地域づくり協議会」を設立し、事業が始まりました。

■What is it?- (農泊って何)

多くの皆さんは「農泊」と聞いたら、「農家さんに泊まるのかな?」と考えると思いますが、今回の目的は違います。滝上町の林業・畑作・酪農を中心としますが、各産業の本業の邪魔をすることなく、それぞれの産業と町の資源を体験メニューとして組み合わせ、それを最大限に活用し、地域全体で「稼ぐ力」をつけることを目的とします。

農泊の取り組みにはいくつかの事業計画があります。
(1) 農泊事業を地域が一丸となって推進するため必要な地域合意を図り、コンセプトと振興戦略を策定し、受け入れ体

制の基盤整備を進めます。
(2) 日本一の生産量を誇る「薄荷」や希少性の高い「七面鳥」など特色ある

農産品のほか、地元農家が生産したスイートコーン・かぼちゃなどの加工品や、小麦粉などの加工品を原材料として「食」の体験プログラムを実践します。

(3) 森林体験、釣りや自然散策など滞在型体験プログラムを企画開発し(2)とあわせインバウンドをターゲットとした各種モニターツアーの実施をします。

(4) 札幌圏などで農産品普及啓発イベントやモニターツアー参加者による滝上のファンづくりを行いSNSでの情報発



信を展開し、観光誘客の促進を図ります。

■Why- (なんで農泊したいの)

滝上町の強みは町の皆さんが持つおもてなしの気持ちと豊かな自然の恵みです。芝ざくらの時期だけじゃなくて、1年中、滝上の優しい人たちに会えて素敵な景色が見られて美味しいものを食べるのができます。滝上町を知らない人たちにこれらのことを伝えるため農泊の体験と見学で知ってもらいたいと思っています。

■What we've done so far- (事業報告)

10月には第1回目のモニターツアーを開催し、4人のモニターが参加されました。参加した皆さんは札幌に住む様々な国の方々に、1泊2日の日程で滝上町にお越しいただきました。

体験の内容としては、渚滑川でのフライフィッシング体験や錦仙峡のウォーキング、長屋牧場と井上牧場では酪農を体験し、牛とふれ合い、林

農場ではビート収穫作業見学を行いました。

紅葉もまだまだ見頃の時期だったので滝上の綺麗な秋の景色を楽しんでいただきました。

■Future Plans- (将来に向けて)

第2回モニターツアーは今年の1月に開催します。その時も外国人と日本人グループを受け入れます。寒さの厳しい滝上ですが、寒さも本町の資源と捉え、渚滑川の氷瀑などきれいな冬景色を楽しむスケジュールを考えています。

農泊事業の取り組み内容は適宜広報でお知らせしていきます。皆さんお楽しみに! 滝上町の「農泊」ここにチュウモクです。

